



Xmas&越年会~新年会を行いました。

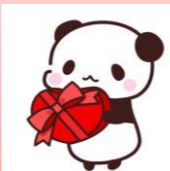


デイサービスセンターふる里の丘 今後の予定

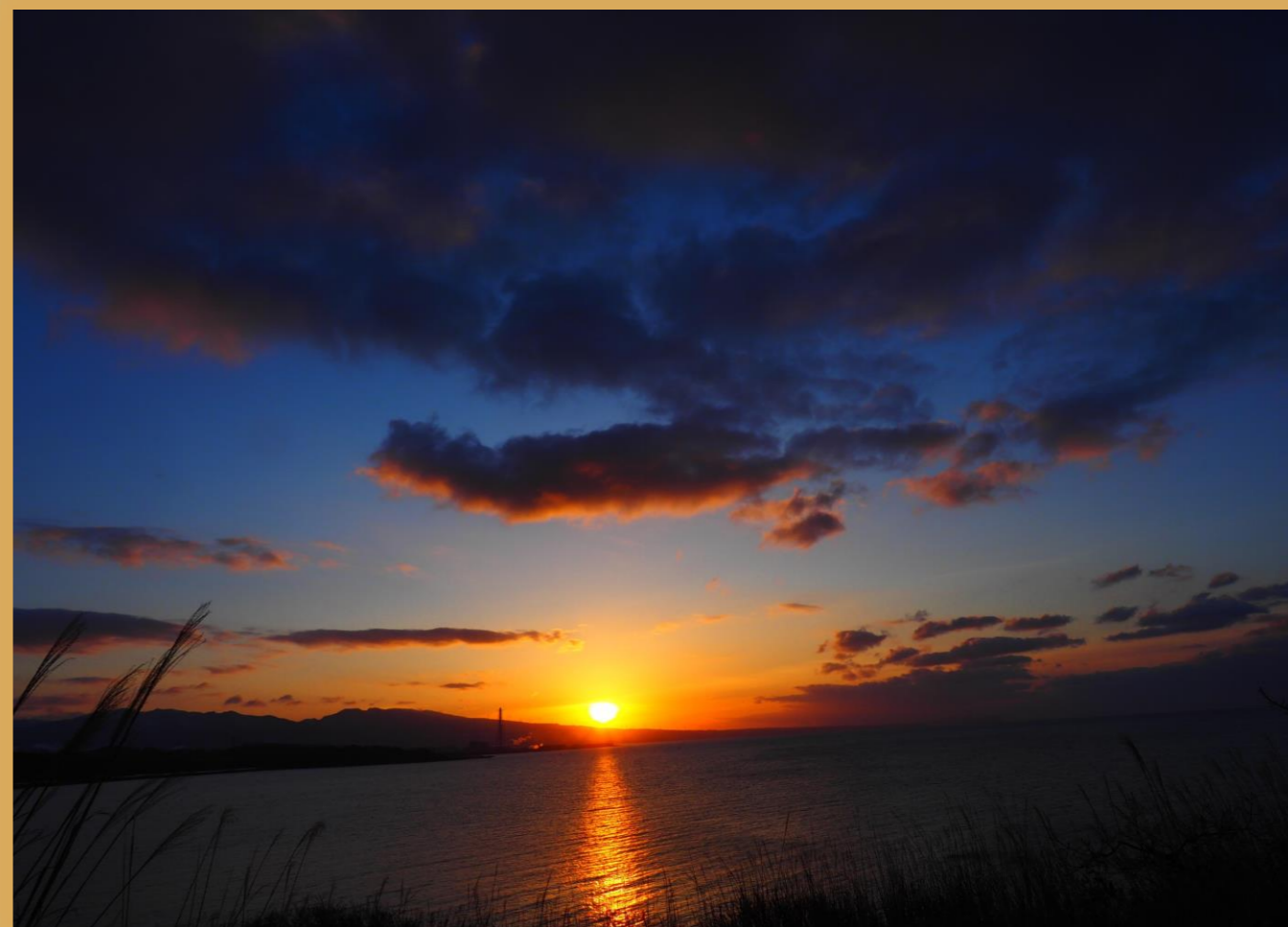


2月 1日~2月生まれの方のお誕生会週間
2月12日~ バレンタイン週間
2月19日~ お汁粉週間

※ 変更が生じた場合には前週にお知らせします。



ふる里の丘広報誌「四季つれづれ」
令和六年:冬号



謹賀新年:有珠アルトリ岬 ご来光

デイサービスセンターふる里の丘

〒049-5613
虻田郡洞爺湖町清水21-98
TEL 0142-76-1300
FAX 0143-76-1302

<http://www.koseikai-wel.or.jp>
発行責任者 デイサービスセンターふる里の丘: 所長 工藤一憲



社会福祉法人 幸清会

2024年 理事長 新年のご挨拶

2024年 新年のごあいさつ

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日頃より、皆様からの多大なるご協力・ご指導を賜り、社会福祉法人幸清会は2023年4月28日で開設50周年を迎え、2024年4月27日までの1年間を開設50周年記念事業Yearとして取り組んでおります。種々ご協力いただいております多くの皆様に、衷心より感謝申し上げます。

さて、入居者とご家族の皆様には、面会等で大変ご迷惑をおかけしておりましたが、2023年5月には新型コロナウイルス感染症も5類感染症に移行し、面会等の規制も緩和され、入居者の皆様の表情も穏やかになった様子にホッとしております。

私どもの仕事は、入居者・利用者の皆様と職員が互いの人生を大切にしながら、尊重し合う関係を築くことが大切だと考えておりますが、日々マスクをした状態でのサービス提供は、入居者・利用者の皆様とのコミュニケーションにも支障をきたすだけでなく、職員にとってもストレスのかかる日々となっております。

また、私どものサービスをご利用になられる入居者・利用者の皆様に「幸せな人生だった」と思ってもらえるよう、職員もゆとりを持ち、ゆったりと関りながら共に過ごしたいと考えていても仕事に追われ、なかなか叶わない状況に対するジレンマもあるようです。

そこで、本年はスペインのサグラダ・ファミリア(聖家族教会)をつくっている時に建築家アントニ・ガウディがスタッフに毎日言った「諸君！ 明日はもっと良いものをつくろう！」という言葉借りて、介護の専門職として「明日はもっと良いケアを提供しよう！」を合言葉に仕事に専念したいと考えております。

開設50周年を迎えた幸清会は、2024年も入居者・利用者の皆様、ご家族様、地域の皆様に愛される福祉施設・介護事業を目指し、初代理事長大久保幸治郎の創始の「こころ」と「思い」、「情熱」と「熱意」を噛みしめながら、社会福祉法人としての誇りと使命を役職員一丸となり、真心を込めて取り組んで参りたいと存じます。

本年も皆様のご指導、ご協力をいただきますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして2024年のご多幸の一年でありますよう、衷心よりお祈り申し上げます。

2024年 元旦

社会福祉法人 幸清会

理事長 大久保 幸 積

冬の地震に備えて

令和 6年 1月1日 16時10分 能登半島を震源とする最大深度7の大規模地震が発生しました。

建物が倒壊する程の大きな揺れ、沿岸部では津波が押し寄せ、大規模な火災が発生し多くの尊い犠牲と今まだ行方不明の方もいらっしゃる中、多くの方が不自由な避難生活を強いられる状況が続いています。

北海道でも「津波注意報」が発令される等、不安を感じた方は多かったと思います。

「冬に発生する地震の恐怖」

① 停電

冬に地震が発生した場合には、地震や津波から逃れたとしても「寒さ」「雪」「火災」等の二次災害が発生する恐れがあります。

地震によって電気やガスが止まると、暖房器具が使えなくなる場合があります。長期間の停電が発生したら室内にいても低体温症になるなど、命に関わる問題となってきます。

停電時に暖をとれるよう、持ち運びができるカセットストーブを用意しておく事、衣類は防寒ジャンパーの他、手袋や暖かい靴下、毛布、カイロ、帽子等、寒さを防げるものを用意しておく事が必要です。



「非常時の食料」

食べ物は当然、温かいものが欲しくなりますので、カセットコンロで使用するカセットガスボンベを多めに用意しておくことも1つです。火を使わずに温かい料理ができる調理器などを備えておく方法もあります。寒さを避けるために車の中に一時的に避難するというケースもあると思いますが車の中にも毛布や寒さをしのげるグッズを常日頃準備しておき、車の燃料も常に給油をしておくことが毎が一の備えにつながります。



「避難所までの経路」

冬に避難する際には、積雪や路面凍結、また吹雪によって見通しが悪くなることもあり避難に時間を要します。自宅からの避難場所までの道順を事前に確認し、夏場とは違う「冬時間」でどういう所に危険があるのか、ご家族と話し合っておきましょう。

「火災への注意」

暖房器具を使用している冬に地震が発生すると、転倒などより引火し、火災が広がりやすくなります。暖房器具のそばには、燃える物を置かない事、避難の際には必ずブレーカーを落とすようにし、普段から、火の元の確認や消火器の設置場所を確認する事を心がけて、いざ地震がきても落ち着いて行動できるようにしておくことが重要です。